

# 第44回 平成27年

新潟県指定無形民俗文化財

# 三条かぐら鑑賞会

日時 10月4日(日) 午後1時開演  
会場 三条市中央公民館大ホール



主催

三 条 市  
三 条 神 楽 保 存 会

---

---

## プログラム

---

---

- |   |           |            |       |
|---|-----------|------------|-------|
| 1 | 開会のことば    | 三条神楽保存会会長  | 佐藤 力  |
| 2 | 主催者あいさつ   | 三条市長       | 國定 勇人 |
| 3 | かぐらの演舞    | (解説) 神明宮禰宜 | 三上 正行 |
|   | (1) 宮清の舞  | 一ノ木戸       | 神明宮   |
|   | (2) 榊の舞   | 保 内        | 小布勢神社 |
|   | (3) 大鉦の舞  | 田 島        | 諏訪神社  |
|   | (4) 五穀捧の舞 | 塚野目        | 白山神社  |
|   | (5) 杵樹の舞  | 一ノ木戸       | 神明宮   |
|   | (6) 花献の舞  | 田 島        | 諏訪神社  |
|   | (7) 神勇の舞  | 大 崎        | 中山神社  |
|   | (8) 鎮護鉦の舞 | 保 内        | 小布勢神社 |
|   | (9) 福神遊の舞 | 三 条        | 八幡宮   |
| 4 | 閉会のことば    | 三条神楽保存会副会長 | 石月恒雄  |

## 1 みやぎよ 宮清の舞

伶人一人で舞う。天照大神が須佐之男命すさのおのみことの乱行を怒り、天の岩戸におかぐれになられたその時、天兒屋根命あめのこやねのみことが大神のお出ましを願うための祭りを  
行うべく、先ず大神なきあとの不浄を清めようと修祓の行事を行ったということに由来する舞で、神楽殿、参拝の人々の罪、穢れを祓い清める意味のものです。

【囃子】三拍子

【装束】毛頭（小）・狩衣

【面】翁

【採物】大麻

### 一ノ木戸 神明宮



## 2 さかさ 榊の舞

稚児四人によって舞われる舞

です。天孫降臨の折、猿田彦大神さるだひこおおかみは天孫の降臨の道すがら、榊をもって、悪神たちを打ち平げたという故実による舞です。

【灘子】榊拍子

【装束】天冠・髪に蝶型・曲・青狩衣・紫袴

【採物】榊

【採物】鈴

### 保内 小布勢神社



### 3 おおぼこ 大鉾の舞

三 条 八 幡 宮

くしいしまどのかみ  
櫛石窓神が、天孫降臨に先立ち、

おもいがみのかみ たじからおのかみ  
思金神、手力神と共に、中津  
国の荒ぶる神たちを鉾をもって鎮  
圧したことに由来するといわれる  
舞です。

なおこの舞を「地鎮の舞」(又は  
「とこしずめの舞」)ともいいます。  
鉾の霊力を表徴するのがこの舞で  
す。

- 【囃子】大満
- 【装束】大毛頭・金襴大狩衣・大口袴
- 【面】 悪魔祓面
- 【採物】大鉾



### 4 ごこくさきげ 五穀捧の舞

塚野目 白山神社

二人で舞います。ウブスナノカ  
ミをはじめ神々の加護によって、  
今年も茄穀豊穰。めでたく収穫も  
終わったので、神々に五穀の初穂を  
奉り、豊作のよろこびを感謝する  
舞です。

- 【囃子】シヤギリ
- 【装束】狩衣・切袴又は差貫通・  
風折烏帽子又は引立烏帽子
- 【採物】三宝・鈴



## 5 ぞうぎ 杵樹の舞

一ノ木戸 神明宮

二人で舞います。中津国の荒ぶる神たちを鎮めるべく、弓矢を持

たけみかづきのかみ  
つ武甕槌命が天下り、火の神

かぐつちのかみ  
迦具土命と協力して中津国の安泰をはかったことにもとづく、天長地久四方泰平を祈る舞いです。

弓矢は武力による邪悪の平定を意味し、杵と飯しゃもじは、食を充分に与えて民の生活を豊かにすることをあらわしています。

【囃子】三拍子、しゃぎり 【装束】武甕槌命一立烏帽子・狩衣、迦具土命一彦姿

【面】武甕槌命一杵樹面、迦具土命一彦面 【採物】武甕槌命一弓・矢、迦具土命一杵・飯しゃもじ



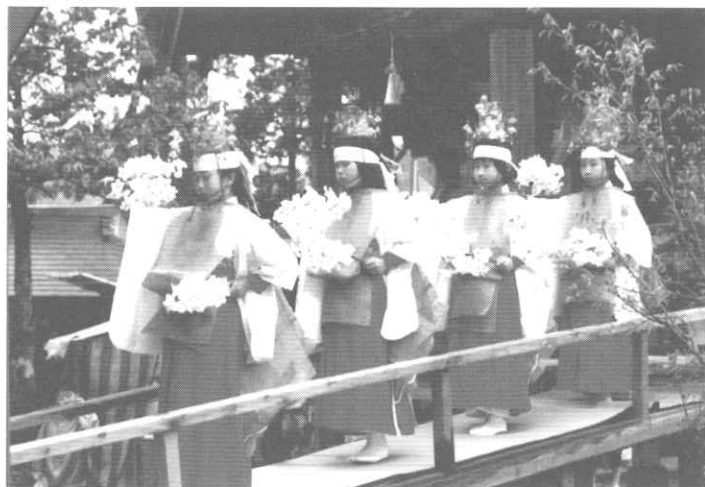
## 6 かけん 花献の舞

田 島 諏訪神社

稚児4人舞です。時の花を神に捧げる意味のものと思わ

れますが、にぎのみこと 邇々芸命をかささ 笠沙の岬にお迎えして、命の苦労をおなぐさめ申したことに由来する舞であるとも伝わっています。

【囃子】花献拍子 【装束】立烏帽子又は天冠・狩衣・差貫袴 【採物】時の花の枝 1人2本ずつ



## 7 かみいさみ 神勇の舞

大崎 中山神社

神の喜び舞われる姿を表現し、神の勇みを現わしたものとされている一人舞です。

湯立神事の際とくに舞われるしきたりになっています。

【囃子】大満

【装束】狩衣・切袴・黒毛頭

【面】奉幣面

【採物】剣・鈴



## 8 ちんごほこ 鎮護鉾の舞

保内 小布勢神社

イザナギ・イザナミの二神が天の浮橋に立たれ、天の沼矛で滄海をかきまわし、矛を引きあげた時、矛先からしたたり落ちた潮がかたまってオノノコロ島に天の御柱立てられ、御柱を廻りながら夫婦の契りを結び、次々に日本の島々をお生みになったと伝えられています。

【囃子】大満

【装束】黒毛頭・千早・大口

【面】鎮護鉾面(阿吽)

【採物】短鉾云



三 条 八 幡 宮

恵比寿、大黒の舞です。互いに失敗を無言劇風にからかい合いながら舞は進められ、最後に恵比寿が大きな鯛を釣りあげ、大黒も大いに協力し喜び合います。

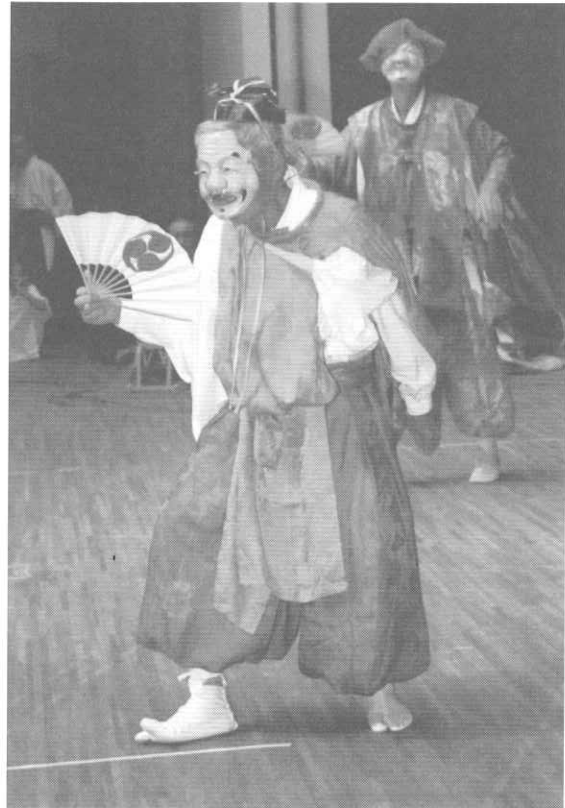
恵比寿が大きな鯛をかかえて退場すると、大黒は拝観者に菓子を撒いて退出します。

【囃子】三拍子・大黒一人になった時は神拍子

【装束】大黒一大黒頭巾・狩衣・奴袴  
恵比寿一風折烏帽子又は侍烏帽子・狩衣・奴袴・白脚絆・禪

【面】大黒一大黒面 恵比寿一恵比寿面

【採物】大黒一槌・袋・扇子 恵比寿一釣竿・扇子



### 三 条 神 楽 の 由 来

三条神楽は、出雲神楽系統に属する神楽です。出雲神楽は、岩戸開き神話を中心とし、その他古くから出雲大社に伝わる神事や、神社の縁起を新たに取り入れ演じられた神楽です。その出雲流の神楽が、山陰から北陸を経て三条の地に伝えられたものと考えられます。

江戸時代の文化8年(1811)には、三条(八幡宮)で神楽が舞われていたことが、古記録に残っていることから、その起源はさらに遡るものとみられます。

ふつう5舞か7舞を伝えるものが多いなかで、三条神楽は32舞も保存されていて、たいへん珍しいため、昭和38年3月、県の無形民俗文化財に指定されました。

このようにすぐれた郷土芸能を、広く市民のみなさんから知っていただき、後世に伝えるため、三条市および三条神楽保存会では、後継者の育成に努めています。研修会や講習会などをおして研鑽を重ねる一方、ビデオや映画に収録したり、本にまとめたりして、当市の伝統芸能の保存をすすめています。

新潟県指定  
無形民俗文化財

### 三条神楽32舞の演目

1 先稚児の舞	9 鳥形の舞	17 天川の舞	25 杵樹の舞
2 宮清の舞	10 羽返の舞	18 奉幣の舞	26 宝剣作の舞
3 悪魔祓の舞	11 岩戸開の舞	19 小弓遊の舞	27 深山錦の舞
4 鎮護鉾の舞	12 地久楽の舞	20 四神の舞	28 神勇の舞
5 久奈戸の舞	13 稲田宮の舞	21 五行の舞	29 五ツ刀の舞
6 五穀撒の舞	14 榊の舞	22 大鉾の舞	30 三座返の舞
7 五穀捧の舞	15 花献の舞	23 天孫降臨の舞	31 宮司舞
8 太平楽の舞	16 福神遊の舞	24 末広の舞	32 乙女舞